

〔取組区分〕

広報

〔事業分野〕

自動車整備業

〔実施主体〕

運輸支局

〔対象者〕

高等学校等

運輸支局長等による高等学校訪問について

■ 取組の目的(背景等)

近年、少子化や若者のクルマ離れの進展、将来選択肢の多様化等により、自動車整備に関する専門学校や短期大学等の生徒数が激減しており、この状況が続きますと自動車の安全・環境を支える整備事業の基盤を揺るがすおそれがあり、早急にその原因等に対応した効果的な対策を講じる必要があります。

そのため、この対策の一環として国が中心となり高等学校の校長等に対し、自動車整備の仕事の社会的重要性、自動車社会の安全・安心を支える自動車整備士の社会的貢献度の高さ、自動車整備の仕事における将来性をPRすることにより、自動車整備の仕事への理解を得るとともに、高校生が自動車整備の仕事に就職する機会の確保を図ります。

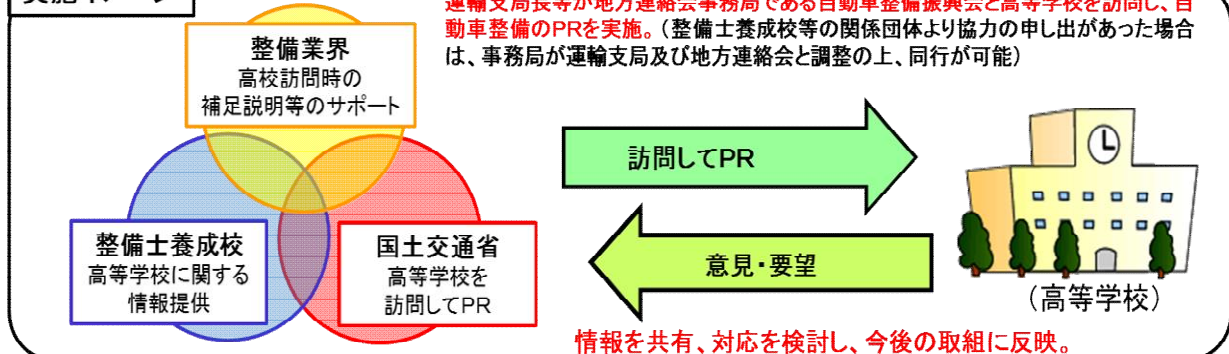
■ 取組の概要(内容)

平成26年度より、自動車整備の仕事への高校生等の理解向上を図り、自動車整備の仕事に就職する若者を確保するため、国(運輸支局)が中心となり、自動車整備人材確保・育成推進協議会と連携して高等学校の校長等を直接訪問し、自動車整備の仕事の社会的重要性、将来性について説明を実施しました。

中部管内各運輸支局別高校等訪問実施結果

	29年度	28年度	27年度	26年度
愛知	12	12	11	11
静岡	10	12	11	10
岐阜	11	13	12	11
三重	10	10	10	11
福井	8	7	10	10
合計	51	54	54	53

実施イメージ



■ 取組の効果

訪問した多くの高等学校で、自動車整備の仕事や整備士が不足している状況を理解いただき、パンフレットによる校内での情報共有や、進路指導の際の選択肢として整備の仕事を紹介する等の前向きな反応をいただいた。

また、自動車整備のイメージの改善についても理解いただいているものの、インターネットの情報や保護者の感触として、依然として3K・低賃金のイメージがあり、地元志向の傾向もあることから、インターンシップや職場体験等への要望の意見を多くいただいた。

いただいた意見・要望については、情報を共有、対応を検討し、今後の国と協議会の取組に反映させる。

■ 主な意見など

● 全国の運輸支局長等が575校を訪問した際にいただいた主な意見

	主 な 意 見
興味・魅力 イメージ (196件)	趣味の多様化等により、自動車に興味を持つ生徒が減少。 <u>小中学校段階からのPRが必要。</u> <u>インターネット情報により、自動車整備士は「3K」「低賃金」というイメージが強い。</u> 将来性、ステップアップ要素の情報、他業種と比較して整備業界のメリットを教えてほしい
求 人 (146件)	整備業界からの求人が増えているとの声もあるが、 <u>高校によっては、求人がないところもある</u> <u>インターネットによる求人情報を収集している生徒が多いことから、求人サイトを活用すべき。</u>
インターンシップ 職場体験・説明会 (146件)	インターンシップ、職場体験等の情報、 <u>特に地元の情報がほしい。</u> 生徒へ説明会、出前講座、 <u>特に卒業生による講演の要望が強い。</u> <u>他の業界も人手不足であることから、積極的なアピールが必要。</u>
経済的理由 ・奨学金 (68件)	<u>専門学校進学には経済的負担がネック。</u> 奨学金制度の情報や国や企業等の補助（奨学金、学費免除等）の要望。
給料・待遇 環境改善 (129件)	<u>給与・待遇・福利厚生等の具体的な情報</u> を強く要望。 就職後のキャリアパスへの不安（営業への配置転換、将来性が不透明）
働きながら 資格取得 (50件)	<u>働きながら整備士を目指すための制度のアピール要望。</u>
女 性 (25件)	女性の受入体制のアピールや <u>女性整備士活躍の見学。</u>
そ の 他	<u>地元志向が強い。土日出勤を嫌う。安定志向。</u> <u>親の意見を重要視している学生が多いことから、親へのアピールも必要。</u>

■ その他

自動車整備の仕事を紹介するパンフレット、高等学校への訪問時に使用した資料です。

- ◎ [平成26年度版【自動車整備の仕事】](#)
- ◎ [平成27年度版【目指せ、自動車整備士】](#)
- ◎ [平成28年度版【今こそ！自動車整備士】](#)
- ◎ [平成29年度版【それが自動車整備士】](#)
- ◎ [平成30年度版【自動車整備士って知ってる??】](#)

[「自動車整備士」は社会に貢献しています！！](#)